

就学前教育

就学前教育と小学校教育との円滑な接続

就学前教育と小学校教育との円滑な接続のためには、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、子どもの育ちや学びについて保育者と小学校教員による相互理解を図っていくことが必要です。就学前教育においては、小学校以降の子どもの発達を見通しながら保育活動を展開し、育みたい資質・能力を育むことが大切です。

円滑な接続に向けた連携のために

※取り組みやすいことから始めてみましょう。

情報交換を通して互いの子どもの生活や教育方法を知りましょう。

- [例]・園だより、学校だより、5歳児と1年生のクラス(学年)だよりの交換と全職員での回覧
- ・おたより等の園内及び校内掲示
- ・行事、研究会の案内
- ・年間行事予定表、1日の流れの交換
- ・学校(園)評価、経営計画等の交換

互いを知らう

相互参観を通して、互いの子どもの生活や教育方法の相違点や共通点の理解を図り、育ちや学びをつなぎましょう。

- [例]・環境：ユニバーサルデザイン等
- ・生活：給食、清掃、当番活動、持ち物等
- ・地域との関わり：行事等の世代間交流等
- ・学び：生活科等の授業、5歳児の遊びや振り返りの時間

参観しよう

双方の教育内容及び指導方法を理解し、接続を意識したカリキュラム改善を図る。

(5歳児年間指導計画、スタートカリキュラム)

参加しよう

研究会等に積極的にに関わり、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、子どもの育ちや学びについて感じたことや考えたことを共有し、互いの教育・保育に生かしましょう。まずは研究会を見合うのも一案です。

- [例]・幼保小の研究会への相互参観や参加
- ・協議での積極的な意見交流による参加者同士の学び合い

継続させよう

連携できる組織の構築を図り、互惠性のあるつながりを継続させましょう。

- [例]・連携の組織づくり(管理職、教務主任、研究主任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、担任等)
- ・接続に向けた目標やテーマの設定
- ・円滑な接続に向けた連携のための年間計画作成と実践、改善

子どもの姿から読み取れる育ちや学びと小学校生活とのつながり

Point 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、就学前教育において育みたい資質・能力が育まれている子どもの具体的な姿です。育みたい資質・能力は遊びを通しての総合的な指導により一体的に育まれ、小学校教育以降の資質・能力につながっていきます。

【例】 5歳児の砂場の遊びのエピソードを基に、子どもの姿から育ちや学びを読み取り、小学校生活へのつながりについて保育者と小学校教員とで話し合いました。話し合ったことは、**①子どもの姿 ②子どもの姿から読み取った育ちや学び ③小学校生活へのつながり**の3点にまとめました。

就学前の「遊び」の中で見せる子どもの姿
(学びの芽生え・無自覚な学び)

育みたい資質・能力及び
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

小学校の「学習」の中で見せる子どもの姿
(自覚的な学び)

数人の子どもたちが友達と砂場でゆるやかなV字型に桶をつなげて遊んでいるときに、片方の桶の端からバケツで水を流すと、水がもう一方の桶の方に上って流れ込むことを発見する。いつもと違う水の流れ方に興味をもち、空のペットボトルをロケットに見立てて手前の桶に置き、水を流して反対側の桶から飛び出させるといった遊びに発展する。

なかなかうまくいかないが、「もっとたくさん水がいるんじゃない」「ああ、今度は強すぎだ」「じゃあ、少しずつ流してみる」などと友達と考えを出し合い、水の量や流す勢いを変えながら、繰り返し試す。しばらく試した後、バケツ一杯に汲んだ水を、始めはゆっくりと流し出し、半分ほど流したところで、勢いをつけて一気に全部流すとうまくいくことを発見する。

ペットボトルは水の勢いに合わせて、始めはゆっくりと手前の桶から流れ出し、最後は勢いよく反対側の桶の先端から飛び出す。子どもたちは「やったあ」「大成功」と言って喜び合い、遊びが続いていく。

【出典】 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領各解説

- ①仲間と道具を使った遊びを継続している。
- ②探究心の芽生え、協同性
- ③主体的に取り組む態度、集団生活の基礎等

- ①実現に向けアイデアやイメージを共有し遊びに没頭している。
- ②予測、集中力、健康な心と体
- ③見通しをもったり伸び伸びと行動したりする力等

①②の関連を保育者と一緒に話し合うと、私たちも理解が深まります。②の学びを読み取る際に、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにすると、小学校生活とのつながりが分かりやすいです。

- ①仲間と調整しながら繰り返し試している。
- ②協力と役割分担、目的の共有、試行錯誤、自立心、言葉による伝え合い、思考力の芽生え
- ③話す力、聞く力、学び合いの基礎、根気強さ、協働的な学習等

- ①水運びを繰り返し水の流量の加減をしている。
- ②根気強さ、自立心
- ③粘り強さ、生活を楽しく充実させようとする意欲等

- ①ロケットの発射に成功し喜び合っている。
- ②達成した喜び、感情の表出、協同する楽しさの実感、仲間意識
- ③協力して生活したり学び合ったりする姿、前向きに取り組もうとする意欲等



保育者



②③の関連を知ることで、園で培われた育ちや学びが、小学校生活の様々な場面で発揮されることが分かりました。幼保小で育ちや学びを話し合うことは大切です。